ぼくたち　わたしたち

くっちゃん子

倶知安ですくすく育つ子どもたちです。「どんな子に育ってほしい？」ご家族の願いも併せて紹介します。

問総合政策課企画振興室広報広聴係☎ 56 － 8001

子育て支援センターだより

10 月の広場のお知らせ

あいあい広場（0 歳）　10 月　3 日㈭
きらきら広場（1 歳）　10 月 10 日㈭
のびのび広場（2・3 歳）　10 月 17 日㈭

いずれも 10 時から子育て支援センターでハロウィンの制作を行います。

■申込／ 9 月 2 日㈪ 9 時 30 分～

子育て講座（読み聞かせ）

■日時／ 10 月 24 日㈭ 10 時 30 分～
■場所／子育て支援センター
■講師／読み聞かせの会「ぐりとぐら」
■申込／ 9 月 24 日㈫ 9 時 30 分～

※広場および子育て講座開催日の午前は、通常の利用ができません

子育て支援センター（南 3 東 5　ぬくぬく内）

☎ 55 － 8355　FAX 55 － 8377
開所時間　9 時 30 分～ 12 時、13 時～ 17 時
休 所 日　日曜日、祝日

※ 4・10 カ月児健康診査を受診した子どもで、保護者が同意した場合のみ掲載しています

今年最後の集団検診
子宮・乳がん　2年に一度は検診を！

はつらつレディ検診バスツアー

婦人科の検診は2年に一度の受診が推奨されています。ぜひこの機会をご活用ください。

■対象者／20歳以上の女性
■日程／9月24日㈫
■場所／北海道対がん協会札幌がん検診センター（集合・解散は保健福祉会館）
■内容／婦人科検診の他、各がん検診や特定健診も同日に受けることができます。（表参照）

▼個別検診

対がん協会・厚生病院での個別検診も行っています。受診票を発行しますので、詳しくはお問い合わせください。

問福祉医療課保健指導係☎22―1144

検診の種類（希望の検診を申込）	受診対象（町民のみ）※年度末年齢	自己負担
子宮頸がん検診	20 歳以上の女性で昨年未受診の方（平成 11 年 12 月 31 日以前生）	1,000 円
子宮超音波検査	子宮頸がん検診を受ける方で希望者	1,000 円
乳がん検診	40 歳以上の女性で昨年未受診の方（昭和 54 年 12 月 31 日以前生）	2,000 円
特定健康診査	30 歳以上で、国民健康保険加入者・生活保護世帯・後期高齢者のいずれかに該当する方	無料
胃がん検診	40 歳以上の方	1,000 円
肺がん／大腸がん検診	30 歳以上の方	各 500 円
骨検診	30 歳以上で 5 年以内未受診の方	500 円
エキノコックス症検診	5 年以内未受診またはこれまで未受診の方	無料
肝炎ウイルス検診	40 歳以上で 5 年以内未受診の方	無料
オプション検診		
子宮体部がん検診	子宮頸がん検診を受ける 50 歳以上または閉経後で 6 カ月以内に不正出血があるなどの方（検診時要相談）	2,550 円
HPV 検査	子宮頸がん検診を受ける方で 25 ～ 60 歳の方	4,620 円

＊自己負担金：倶知安町国民健康保険加入者・生活保護世帯はオプション検診以外無料。無料クーポン券該当者は該当検診無料。その他の健康保険（後期高齢者医療保険含む）は表のとおりです。

秋も虫さされには注意！
甘く見ないで適切な対処を

朝晩の空気が冷たく感じるこれからの季節。日中は過ごしやすく、屋外で作業したり、休暇を楽しんだりする方も多いと思います。そのような中、注意したいのが虫さされです。秋は虫にとっても適温で、活動が活発になります。

蚊（ヤブ蚊、アカイエカ）

蚊は体長5㍉程度で、顔や手足などを吸血し、刺されたら発赤とかゆみがあります。

ブヨ（ブユ、ブト）

体長2～4㍉で、ハエのような虫。山間部や渓流沿いに多く、外出の際に注意が必要です。足首や、すね付近を吸血し、刺されたときは痛みやかゆみをほとんど感じず、半日程度経過した後、赤く腫れ、激しいかゆみが生じます。

ノミ（ネコノミ）

体長2～3㍉で、動物の体に寄生します。人が近づくと地面から足首に飛び付き、約20分もの間、皮膚から吸血します。刺されると、みずぶくれを作り、1～2日後に赤いブツブツができます。

ハチ（アシナガバチ、スズメバチ）

庭木の手入れや農作業など、秋の野外活動で被害が多いのが特徴で、刺されると激しい痛みを感じ、赤く腫れます。初めて刺された場合は1日以内で治まりますが、2回目以降はアレルギー反応が加わり、じんましんや発赤、腫れが生じ、ひどい場合、30分～1時間程度で意識消失や血圧低下などが生じるアナフィラキシーショックを起こす場合があります。

○虫さされの治療

軽症なら市販の薬でも良いですが、赤みやかゆみが強い場合、抗ヒスタミン薬やステロイド内服薬が必要となることから、皮膚科専門医の受診をお勧めします。これらの治療は皮膚症状を抑えるのが目的のため、虫さされ予防が大切です。

○虫さされの予防

野外活動では、肌を露出しないことが重要です。さらに、携帯用蚊取り器や、防虫スプレーなどの忌避剤を上手に活用し予防をしましょう。

問福祉医療課地域包括支援センター☎23―0100